

<地域資源を活用した商品製造を行っている事例>

富山県砺波市「若林工業等導入地区」

となみ

- 砺波市の「若林工業団地」では、立地する食料品製造企業において、地域の農産物(玉ねぎ、トマト)を使用しており、地域農業の振興に寄与。
- また、地元から26名を雇用(全体47名)し、地元雇用に貢献。

砺波市の農業概要

砺波市は、富山県の西部に位置し、市の総面積の約38%が農地である。
集落営農組織化が進んでおり、農地の集積率は70%を超えている。
主要農作物は水稻だが、近年は大豆や大麦のほか、玉ねぎ等の高収益作物の作付けが拡大している。県花であるチューリップの球根や、水稻種子の生産が盛んであることも特徴である。

砺波市実施計画の概要

- (1)地区名:若林工業等導入地区
- (2)団地名:若林工業団地
- (3)策定年度:昭和48年度
(最終変更:平成2年度)
- (4)計画策定主体:砺波市
- (5)施設用地面積:8.5ha
- (6)操業企業数:6社

位置図

富山県砺波市

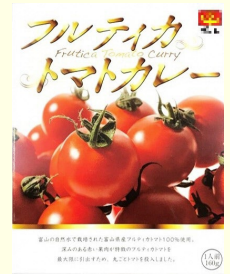


出典:国土地理院HP

企業の立地状況



[若林工業団地の状況]



[地元の食材を使った製品]

業種名	立地面積(ha)	操業年度	従業員数(人)	地元従業員数(人)
輸送用機械器具製造業	1.8	R3	9	5
倉庫業	1.5	H4	14	6
食料品製造業	2.4	H5	47	26
鉄鋼業	1.7	H8	55	11
石油製品製造業	0.1	H8	3	0
金属製品製造業	0.1	H12	6	2

【地域資源を活用した事例】

- 食品製造には地元の特産品をはじめ、市内産や県内産の野菜を積極的に使用している。
- 地元の食材のほか、富山の水にもこだわり海洋深層水を活用した製品も製造している。